

市民温水プール 2 階の研修室を貸出開始

11月1日から会議や軽運動、文化活動に利用できます



11月1日から、市民温水プール2階の研修室と和室の貸し出しを始めます。

市民温水プールは、平成17年3月に閉館した県南女性センターの施設の一部を改修して19年4月にオープン。しかし施設2階の研修室や和室は、利用対象から外されていました。これに対し、市民から利用を希望する意見が寄せられていたほか、市の事務事業を点検している市外部評価委員会からも施設の有効活用を図るべきとの意見がありました。このような声にこたえ、11月から各室の貸し出しを決めたものです。

貸し出しを行うのは、2階の研修室2室と和室です。会議や研修会、ヨガ教室やダンス教室、将棋や囲碁などに利用できます。なお机やイスなど以外で、活動に必要な用具は利用する人が準備してください。

利用申し込みは、利用する月の前月10日から受け付けます。なお11月の利用は10月15日から受け付けを始めます。同プールの窓口で申し込んでください。

問い合わせは、市生涯学習課スポーツ推進係（☎77・8837）まで。

●貸し出しを始める部屋の面積と収容人数



●各室の利用料金

	午前10時 ～午後1時	午後1時 ～午後5時	午後5時 ～午後9時
研修室1	700円	1000円	1000円
研修室2	600円	800円	800円
和室(2室)	800円	1000円	1000円

- 冷暖房を使用するときは料金の5割増しになります。
- 利用時間区分を超えて利用するときは、超えた時間数に応じて加算します。このとき10円未満の端数は切り捨てます。
- 営利目的で使用するときは、市教育委員会が別に利用料金を定めます。

長寿を祝い市長の表敬訪問や敬老会

市内最高齢者は106歳の平田シヅノさん（塩塚）



9月17日は敬老の日でした。市内各地では長寿を祝い、ますますの健康を願おうと、敬老会が催されました。また、21日には金子市長が、来年3月末までに100歳になる10人と、市内最高齢者の平田シヅノさん（塩塚）を訪問。お祝い状と敬老祝い金、記念品を贈りました。

市内最高齢者の平田さんは1906年1月生まれの106歳。7月に体調を崩し、この日は市内の病院に入院中でした。平田さんの看護スタッフによれば、一時期、食欲が衰えたこともあったそうですが、現在では受け答えもはっきりしており、機嫌よく家族のお見舞いを受けられているとのこと。

市長が訪問したときシヅノさんはお休み中。看護師などから声をかけられ目を覚ますと、市長に「どちら様ですか」と質問。市長が「柳川の市長ですよ。今日は長生きのお祝いに来ました」と答えると驚いた表情を浮かべ、手を合わせて「ありがとうございます」と

感謝の気持ちを伝えました。

なお今年9月1日現在で、市内の100歳以上の人は52人です（市福祉課高齢者福祉係調べ）。

市内各地で校区や地域単位で敬老会

東宮永校区では約180人をおもてなし

9月を中心に、市内の校区や地域でお年寄りを敬う催しが行われています。

30日には東宮永校区の敬老会が同公民館で開催。校区内の75歳以上の住民、約180人が参加しました。会では主催者を代表してあいさつをした今村隆義東宮永公民館長が、長生きの秘訣として趣味を持つことや積極的に人と接することなど、5項目をアドバイス。また、それぞれの経験を生かして、若い人たちに指導してほしいと、いっそうの活躍に期待を寄せました。このあと記念品の贈呈や祝舞、歌、踊りなどが披露され、参加者を楽しませました。参加した女性は「同世代の人たちがこれほど集まることはありません。話が弾み楽しいです」と話していました。



◀アトラクションの合唱を聞きながら談笑する敬老会の参加者

大川柳川衛生組合の創立50周年を祝う

市と大川市のし尿や浄化槽の汚泥を処理している一部事務組合「大川柳川衛生組合」が、設立50周年を迎えました。記念式典は9月29日、両市の市長や議員、県議会の議員などの来賓、地元関係者ら約50人が出席し、三潋銀行記念館（大川市）で催されました。同組合は、1962年4月、柳川市、大川市、三橋町、大和町衛生組合として設立。2年後にし尿処理施設「筑水園」を大川市紅粉屋に設置。近年は汚泥を活用した肥料「育つくん」の製造や、木工所から排出された、のこずの燃料化など、循環型社会の実現に取り組んでおり、高い評価を受けています。



2643柱の冥福を祈り戦没者追悼式

平成24年柳川市戦没者追悼式が10月3日、市民会館で行われました。式には遺族や行政関係者などおよそ500人が参列。戦没者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。市遺族会の待鳥岩太郎会長は「戦後67年を迎え、国民の8割以上が戦後生まれの世代になった。戦争を体験した者として、次世代に戦争の悲惨さを語り継いでいかなければならない」と、遺族を代表して追悼の言葉を述べました。この後、献花が行われ、今年新調された祭壇に、参列者の代表らが菊の花を手向け、2643柱の冥福を祈りました。

